

東京港の概要

東京都港湾局

令和3年

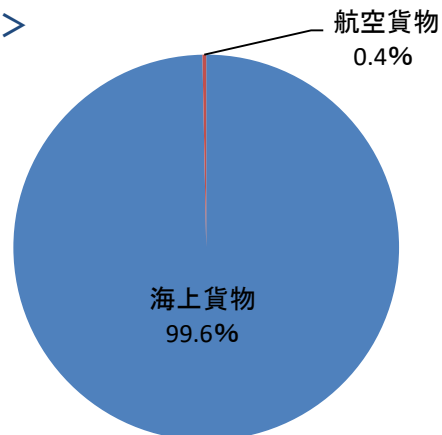


○日本の貿易において、国際海上輸送は重量ベースで99.6%を占めており、日本の貿易にとって不可欠な輸送手段

○国際海上輸送される貨物のうち、コンテナ貨物の割合は日本全体では20%、東京港では96%を占める

1. 国際海上輸送の占める割合

<重量ベース>



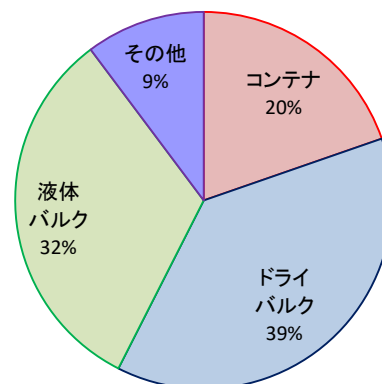
年間貿易量:約9億3千万トン

※(公財)日本海事広報協会発行
「日本の海運 SHIPPING NOW 2018-2019」より



2. 国際海上輸送貨物の構成

<日本全体>



※(公社)日本港湾協会発行
「数字でみる港湾2018」より

- コンテナ : 衣服、製造食品、電気機械、産業機械など
- ドライバルク : 石炭、鉄鉱石、穀物など
- 液体バルク : 原油、LNG、石油製品など
- その他 : 自動車、大型機械など

[コンテナ船]



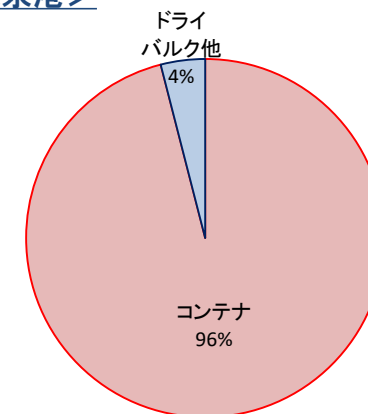
[バルク船(石炭船)]



[バルク船(LNG船)]



<東京港>



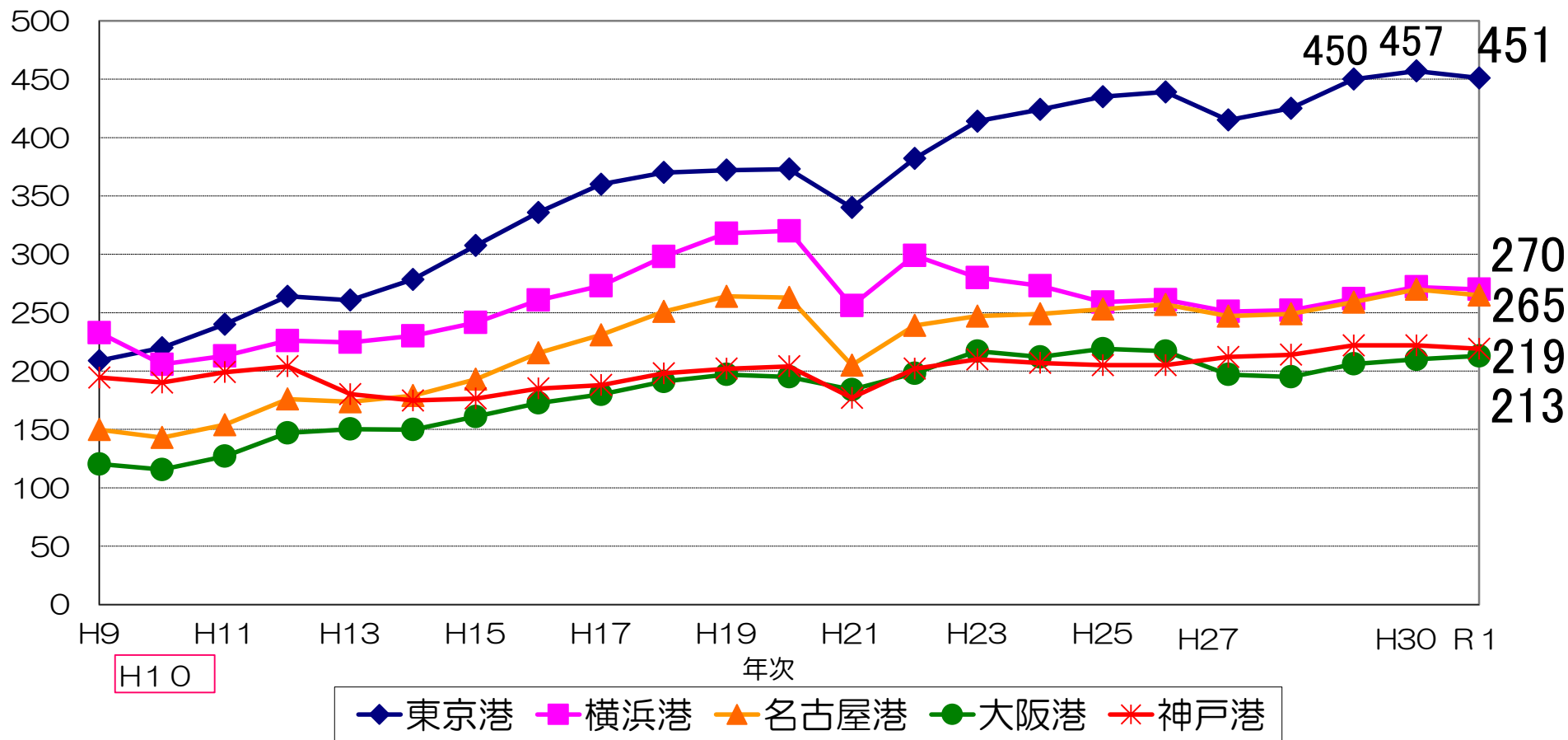
※平成31年東京港港勢より



東京港のコンテナ取扱量は平成10年(1998年)から22年連続日本一

5大港 外貿コンテナ取扱個数の推移

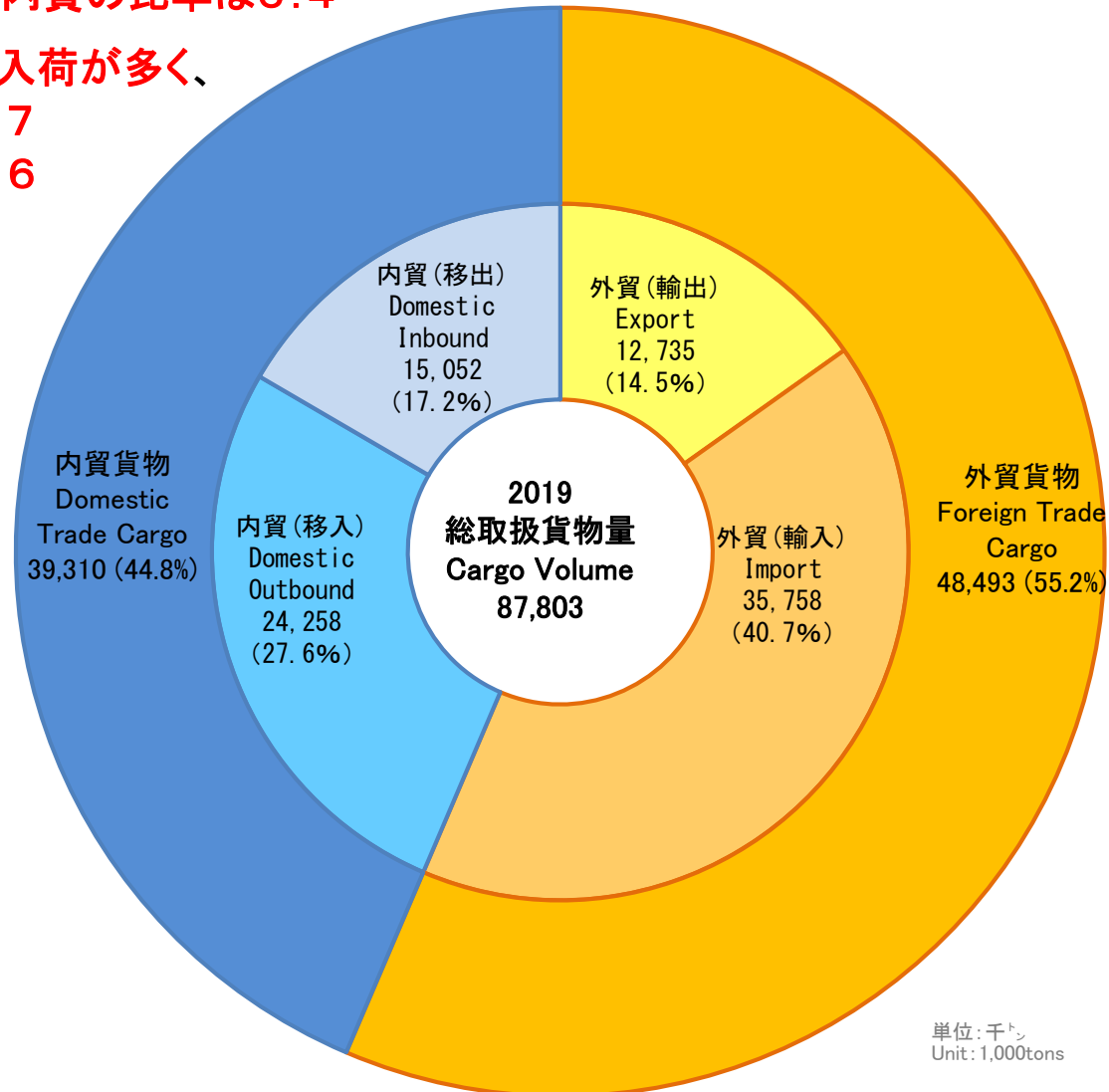
単位：万TEU





東京港の年間取扱貨物量(重量ベース)

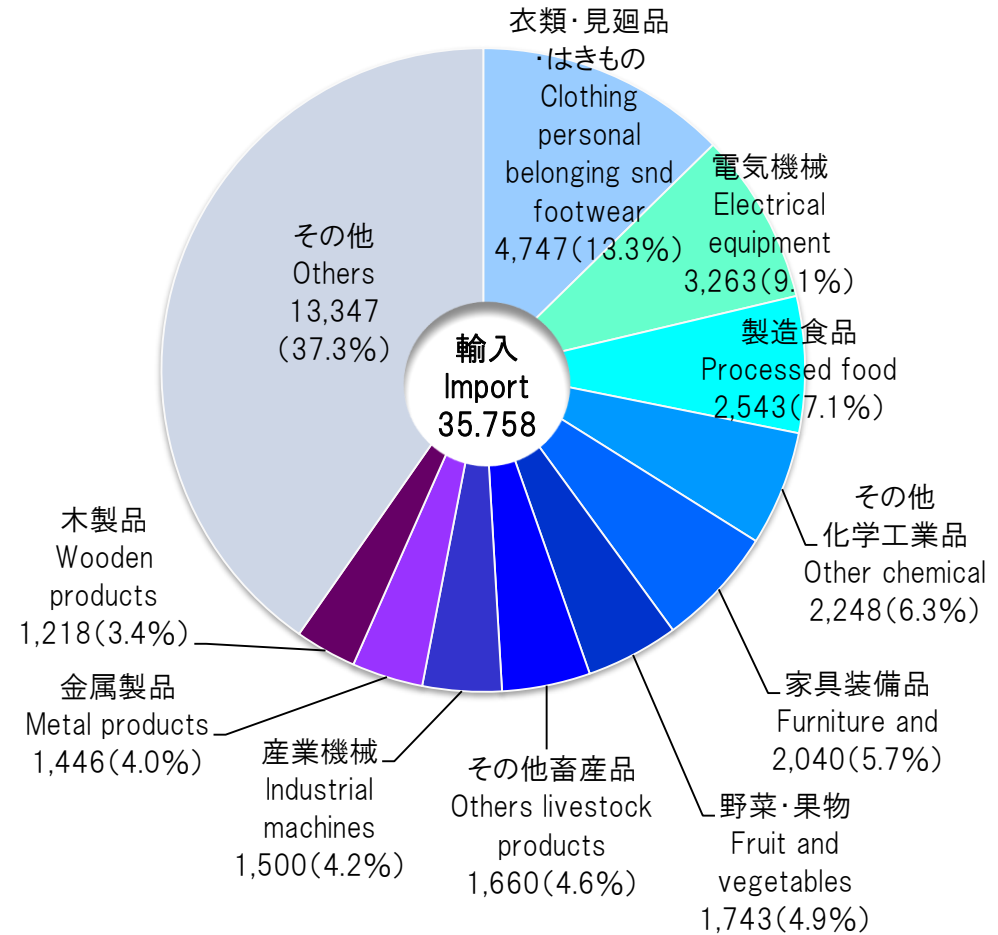
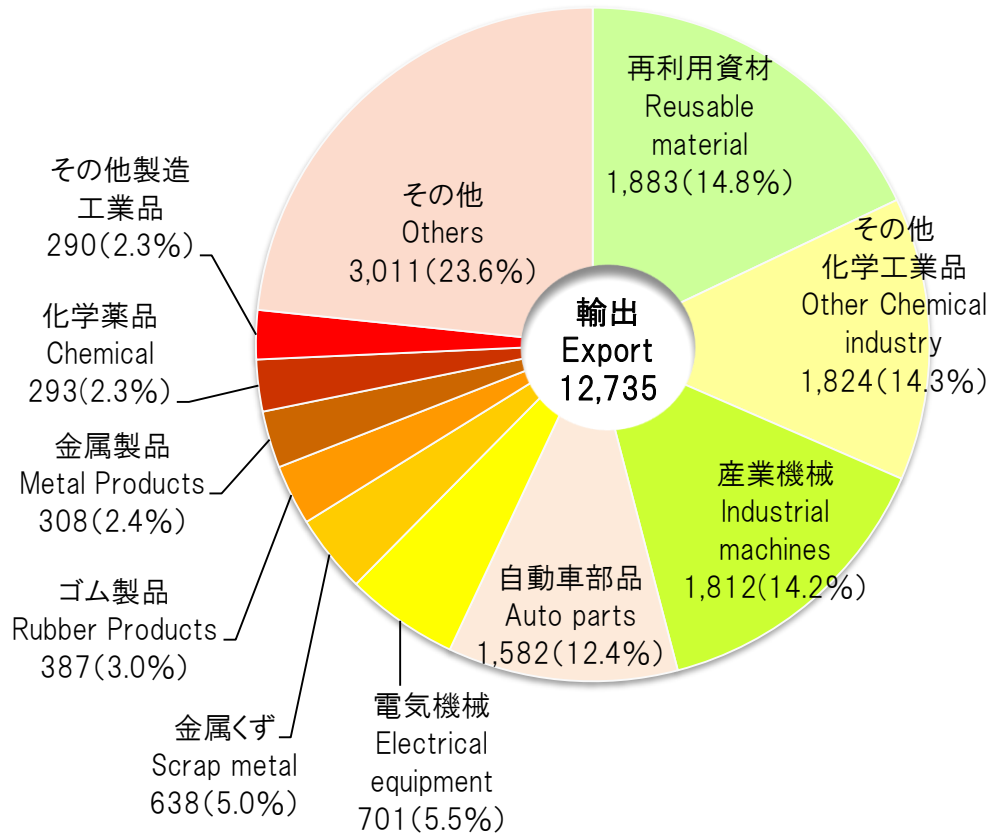
- ◇ 年間取扱貨物量の**外貿と内貿の比率は6:4**
- ◇ 外貿・内貿ともに**出荷より入荷が多く**、
外貿の**輸出入割合は3:7**
内貿の**移出入割合は4:6**





輸出入貨物の品目別取扱量

- ◇ 輸出貨物は古紙などの**再利用資材**のほか、産業機械・自動車部品・電気機械などの**産業用品目**が多い
- ◇ 輸入貨物は、衣類・家具装備品・食品などの**生活関連品目**が多い

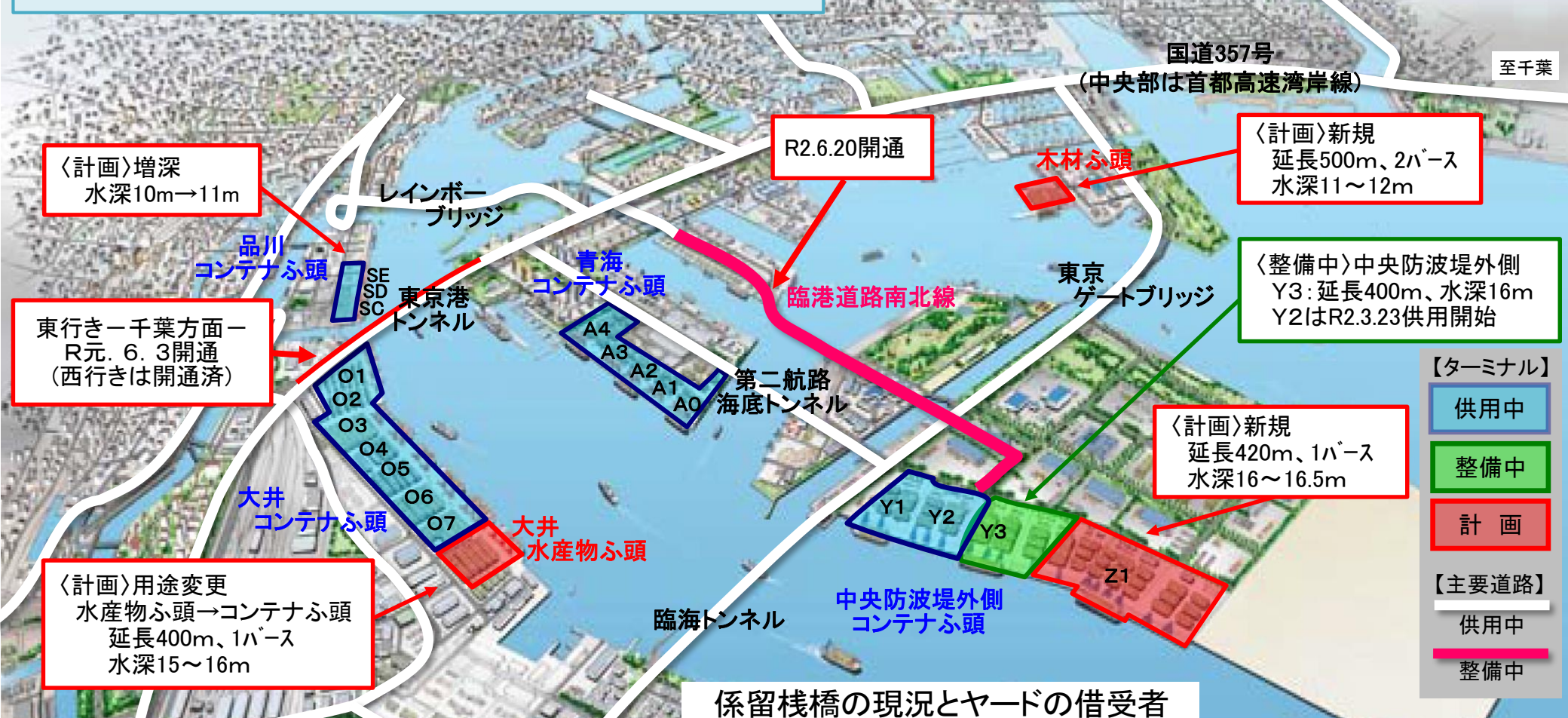


東京港の外貿コンテナふ頭・道路の現況と計画



第8次改訂港湾計画イメージパース図

現況と第8次改訂港湾計画に基づく整備と計画



【ターミナル】

- 供用中 (Blue box)
- 整備中 (Green box)
- 計画 (Red box)

【主要道路】

- 供用中 (White line)
- 整備中 (Pink line)

係留棧橋の現況とヤードの借受者

ふ頭	大井							青海					品川			中防外						
	バー	ス	水深	延長	ヤード借受者	バー	ス	水深	延長	ヤード借受者	バー	ス	水深	延長	ヤード借受者	バー	ス	水深	延長	ヤード借受者		
バー	O1	O2	O3	O4	O5	O6	O7	A0	A1	A2	A3	A4	SC	SD	SE	Y1	Y2					
水深	-15m							-13m					-10m			-11m		-16m				
延長	330m	330m	354m	330m	330m	330m	350m	260m	260m	350m	350m	350m	555m			230m	400m					
ヤード借受者	川崎汽船		商船三井		WHC	日本郵船		伊勢湾海運・山九・住友倉庫 第一港運・日本通運		—	EMC		第一港運・住友倉庫・東海運 日本通運・山九			上組	三井倉庫・住友倉庫 日本通運・山九					

環状7号線

至横浜



東京港の機能強化（ハード整備）と合わせ、短期的かつ即効性のある物流効率化策を実施

① 「早朝ゲートオープン」

- ・コンテナターミナルのゲートオープンを1時間前倒し（7時30分オープン）：平成23年12月から継続実施

「違法駐車（台切りシャーシー）対策」

- ・港湾法に基づき放置等禁止区域を指定（平成27年度）：巡回パトロール、警告書・警告フラッグ取付
- ・受け皿施設の設置（大井時間貸しシャーシープール）

② コンテナ関連施設

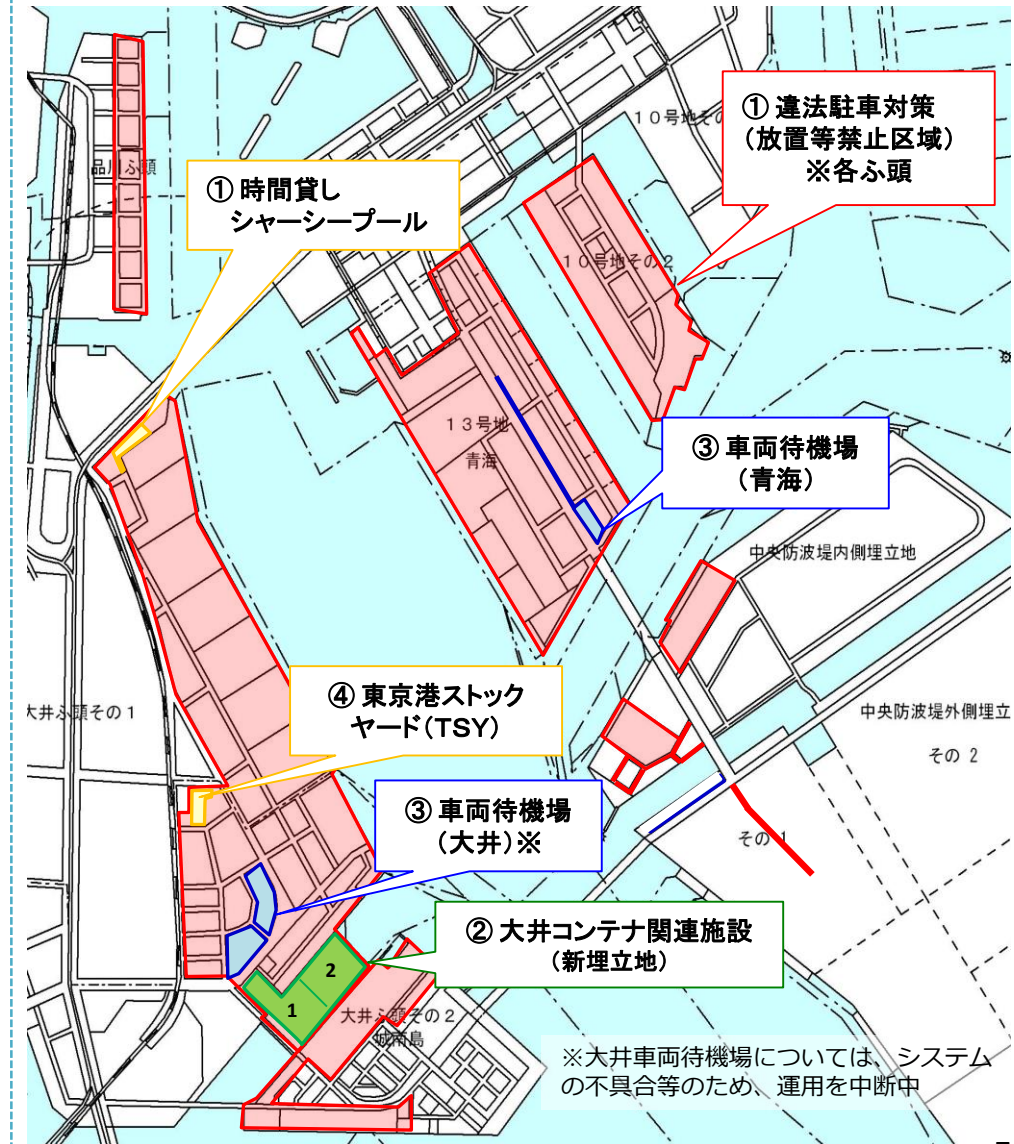
- ・大井コンテナ関連施設（ハンプール・シャーシープール）
第1期（平成28年度＜既設＞）：約11.4ha
第2期（平成30年度＜既設＞）：約 8.9ha

③ 車両待機場

- ・青海車両待機場（含待機通路）＜既設＞：330台
- ※大井車両待機場＜運用中断中＞：474台
大井北部陸橋工事に伴うターミナルへの導線として暫定利用中
⇒ 平均待機時間、待機台数等の見える化を予定

④ 東京港ストックヤード（TSY） 平成29年3月開設

- ・輸入コンテナ（実入り）貨物の一時保管場所を大井ふ頭背後に開設（収容台数186台分）
- ※ 無料・24時間利用可能（要登録）





新たな客船ふ頭【東京国際クルーズターミナル】の整備

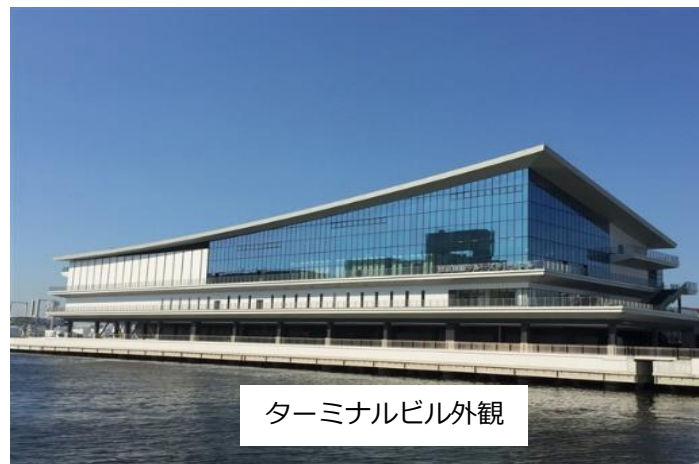


東京国際クルーズターミナルの概要

- 岸壁
対象船舶：22万総トン級
岸壁延長：430m（1バース）
水深：-11.5m
- ターミナルビル
構造：鉄骨造4階建て
延床面積：約19,000㎡
ボーディングブリッジ：2基
開業日：2020年9月10日



ターミナル俯瞰



ターミナルビル外観